

榎尾中学校区 施設一体型義務教育学校に 関する説明会



令和元年5月



本日の予定

○経過報告

○新設校のイメージ

○今後の予定

○質疑応答

經過報告

【主な取り組み】

平成30年 1月～ 意見交換会(18回開催)

平成30年 7月 保護者対象説明会

平成30年 8月 地域説明会

平成30年11月 保護者・地域説明会②

アンケート調査

平成30年12月 第1回 和泉市適正就学対策審議会 諮問

平成31年 3月 第3回 和泉市適正就学対策審議会 答申

和泉市教育委員会第3回定例会にて議決

【アンケート調査結果】

対象

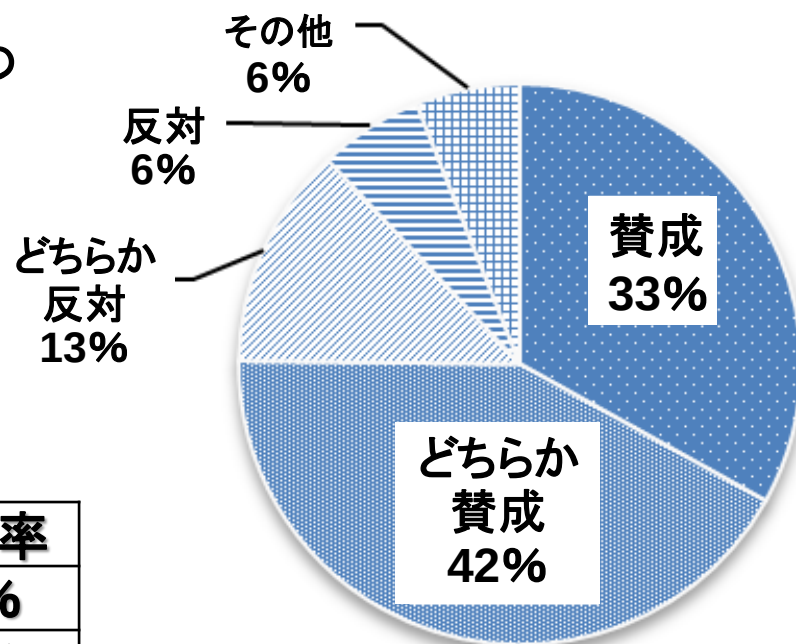
榎尾中学校校区の中学生までの子どものいる保護者（特認含む）

アンケートの内容

榎尾中学校の敷地にて、施設一体型の小中一貫校の特認校を新設することについて

- 1 賛成
- 2 どちらかと言えば賛成（現状では仕方がない）
- 3 どちらかと言えば反対（もう少し色々考えたい）
- 4 反対
- 5 その他

	送付数	返送数	回収率
横山校区	244	88	36%
南横山校区	43	26	60%
特認	50	19	38%
不明	—	2	—
合計	337	135	40%



【適正就学対策審議会 答申】

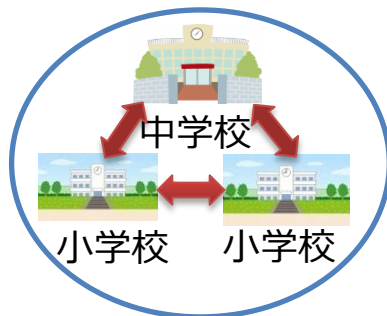
- 横山小学校、南横山小学校、榎尾中学校を統合のうえ、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の特認校を新設する。
- 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の特認校は、現榎尾中学校の敷地を活用するものとする。

新設校のイメージ

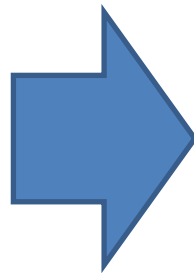
施設一体型とは？

小学校と中学校を、同敷地内の1つの施設内に設置した形態の学校です。

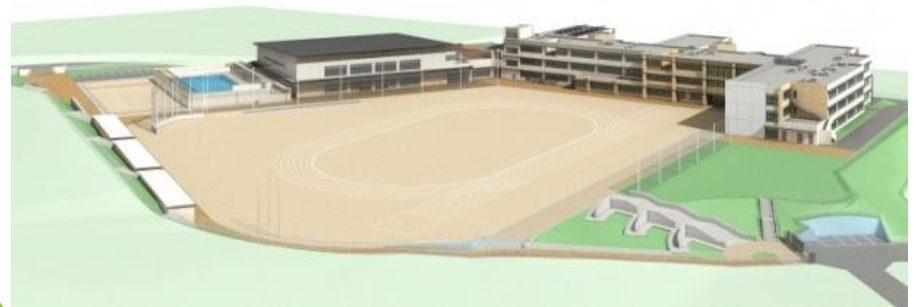
多様な異学年交流や、小中教員による細やかな子どもへの支援等の取組みが充実させやすい教育環境となります。



施設分離型



施設一体型



義務教育学校とは？

平成28年度から施行された新しい校種で、義務教育9年間を通して、より系統的な教育課程を編成し、学校運営を行います。



前期課程				後期課程				
ファーストステージ				セカンドステージ			ファイナルステージ	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
○学級担任を中心とした学習 ○基礎・基本の定着 ○学習習慣の定着				○一部教科担任制からなだらかに教科担任制(後期課程へ移行) ○基礎・基本の徹底と応用力			○専門的な学習の充実 ○確かな進路選択の保障	

南松尾はつが野学園では、内容に応じて、4・3・2制の区切りを採用するなど、柔軟な区切りの設定を行っています。

特認制度とは？

特認制度を導入した学校へは、市内どの地域からでも通うことができます。



和泉市では、自然、少人数指導等を特色として、平成18年度から南横山小学校で導入しています。

他校にはない特色・魅力を検討し、児童生徒を募集します。

令和元年度は、65人の児童が特認制度にて通学しています。

新しい学校になると、どんな教育内容が実践され、どんな効果が期待されるの？

特認制度の導入

- 市内から入学を希望する児童生徒が通い、より多くの「出会い」が生まれます。

少人数指導など、効果的な学習環境

- 1学年2クラスのクラス替えが可能な環境、児童生徒が切磋琢磨できる環境。
- 教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

異学年交流の充実

- 施設一体型の利点を活かした、多様な異学年交流。

前期課程での専科指導

- 後期課程の教員による前期課程での授業。

前期課程からの部活動参加

- 運動・文化にふれる機会や学校生活の充実。

小中教員による9年間の育み

- 前期、後期の教員による9年間の系統的な学習や細やかな学校生活・生徒指導。



南松尾はつが野学園の様子

- 登校風景
- 異学年交流
- 前期課程での一部教科担任制
- 前期課程からの部活動参加
- 小中教員による9年間の育み

地域特性を活かした教育内容や 児童・生徒が集まる魅力づくり

自然環境を活かした学習

→ 槇尾山や父鬼川、地域の田畑など自然を活かした学習活動。

関西トランスウェイスportsスタジアムなどの 地域資源を活用した教育

→ 南部リージョンセンターや地域の産業とも
連携した多様な教育。

南横山小学校の敷地を活用した学習活動

→ 学校林や父鬼川での教科学習や総合的な
学習、特別活動など。

少人数指導による細やかな指導

→ 教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

魅力ある部活動

→ 他校にはない部活動による魅力づくり。

放課後学習環境の充実

→ 学習塾などの参画など、多様な放課後の過ごし方が可能に。



開校の時期、場所は？

- 槇尾中学校の敷地を活用し、新校舎建設のうえ、開校予定です。
- 敷地の拡大に関する調整や建設内容の詳細を整理する必要があるため、現時点で開校時期は未定です。
(少なくとも5年程度は必要と考えています。)
- 校舎の建設時には、同一敷地内で中学生が学びながらの計画です。
しっかりと安全対策、騒音対策に努めるとともに、体育館等の先行整備による、先行利用など在校生への配慮に努めます。

※基本構想、基本設計の内容によっては、
一時移転が必要となる可能性もあります。



通学はどうなるの？

- 南横山地域の全域及び横山地域の一部（距離等踏まえ、今後調整）は、何らかの形で無料のバスにて通学が可能となるように調整予定です。
地域の路線バスを含めた総合調整を行う予定ですので、開校に向けて検討を進めていきます。
- 特認バスについては、小学生、中学生が利用可能な運用に努めます。
詳細は、開校に向けて調整していきます。
- 徒歩通学等についても、安全な通学が確保できるよう、道路照明対策など可能な限り対応を検討していきます。

横山小学校、南横山小学校はどうなるの？

【横山小学校について】

- 現在の校舎等は基本除却の方向で検討します。
- 除却後の敷地については、民間活力の検討や地域広場、宅地等、民間活用の可能性調査を行ったうえで整理予定です。
- 避難所は、新校での機能確保を基本とします。



横山小学校、南横山小学校はどうなるの？

【南横山小学校について】

- 南横山小学校の敷地を自然環境教育の場として活用できるように調整します。
- 地域コミュニティの活性化に配慮し、地域利用が可能な手法を検討します。
- 民間活力の検討も行い、可能性調査などを実施します。



今後の予定

- ①（仮称）学校開校準備委員会を通じて、学校名（案）を検討。
- ② 学校名、新設校設置について議会の議決を求めます。
これにより、正式決定となる予定です。
- ③ 準備委員会にて、開校までに決定すべき内容について順次、
検討を進めます。

→ 準備委員会での協議の様子や進捗状況等は、
市HPやニュースレターを通じてお知らせし
ていきます。

登録をお願いします！ ⇒



「（仮称）学校開校準備委員会」イメージ

【構成】

学校教職員、在校生・就学前児童の保護者、
町会など地域関係者、教育委員会事務局など



【検討事項】

学校名、制服、校章、学校設備、教育内容、校歌、
PTA関係、特認内容など

※検討する内容に応じて、保護者、地域の方々に参画
していただきます。

※教育内容については、準備委員会での検討と並行して、
3校間で先行実施するなど開校に向けて小中一貫教育の
更なる充実を図ります。

今後のスケジュールイメージ（案）※ 現在検討中です。

令和元年度

- 教育内容等の整理にあたっての意見交換
- 情報発信していくべき内容についての意見交換
- 学校名の検討 → 議会での議決
- 3校交流事業の検討 → 令和2年度実施事業の整理
令和3年度以降実施事業の整理
- 校舎建設に向けた基本事項の整理

今後のスケジュールイメージ（案）※ 現在検討中です。

令和2年度から学校開校まで

★前年からの意見交換をより深めていく作業を実施

- 教育内容等の整理にあたっての意見交換（継続）
 - 放課後活動の内容
 - 南横山小学校の教育的利用
 - 特認の定員数について
 - 3校交流事業の推進 等
- 校舎建設に向けた具体案の確認 → 開校時期の整理
- スクールバス等通学対策の意見交換
- 制服、校歌、校章、PTA組織等の検討 etc

学校開校準備委員会での検討をスタートするにあたり、

現在、これまでの適正就学対策審議会や意見交換会における意見のとりまとめを行っているところです。

その内容を確認しつつ、検討・協議を進めていきます。

※なお、これまでの意見交換会等の内容は、和泉市ホームページに掲載しています。



和泉市適正就学対策審議会、意見交換会での意見

⇒ 学校開校準備委員会にて引き継がれ、検討

①施設一体型の特徴を活かした教育内容について

→ いじめに特化した教員、もしくは教員OB等の配置を要望したい。

②地域特性を活かした教育内容について

→ 情操教育を視点に、低学年においては、南横山小学校で学ぶ機会を計画的、持続的に十分確保して欲しい。

③特認制度の導入に関して

→ 1学級20人の学級編制など、可能な限り少人数にして欲しい。
→ 応募する多くの児童・生徒を受け入れて欲しい。

④校舎等に関して

→ 市内にない、習い事や英会話、クラブ活動が対応できる施設を検討して欲しい。

⑤通学等に関して

→帰宅や部活動の時間帯を考慮したバス、
留守家庭児童会を考慮したバスをお願いしたい。

⑥学校名、制服、開校準備等に関して

→地域、特認の不安が払拭されるよう、情報提供をお願いします。

⑦横山小学校のあと地利用に関して

→南部地域に注目が集まるようにし、あと地利用を含めて
地域が活性化するようにつなげて欲しい。

⑧南横山小学校のあと地利用に関して

→教育施設としての活用し、市内の他の学校園など市内全体で
利用できる形が望ましい。

現時点では、不確定の状況が多々ありますが、
これからは、開校に向けたより具体的内容検討
がスタートすることになります。

学校開校準備委員会の様子については、
随時発信していきますので、
今後とも連携・ご協力をよろしくお願いします。

※ 是非、メール登録をお願いします。

■参加者 28 名(横山 14 名、南横山 9 名、特認 3 名、不明 2 名)

■当日の主な質疑

【横山校区】 ● 少人数教育として、1クラス20～30名として考えているとの説明があったが、仮に40名となった場合、2クラスは可能なのか。 ● 現在支援学級の児童生徒数はカウントされないが、その数がカウントされて1学年41名であっても2クラスは可能なのか。 ● 通学バスについて、福瀬町、善正町、南面利町が対象となっているが、九鬼町は路線バスがなく、榎尾中の生徒については自転車通学が許可されている区域になる。九鬼町のような区域は通学バスの取扱いはどうなるのか。 ● また、小学校1年生も路線バスを利用しないといけないのか。保護者の方々としても、1年生から路線バスで通学させるとなるとかなり不安ではないかと推察するが。 【特認】 ● 特認の児童が南横山小学校に、時間、費用を掛けて通学しているのは、その場所に緑豊かな環境や地域の方々の支え、特色ある教育、先生方の熱心さ、子ども達の素直さ等の魅力があるから。南横山小学校の敷地から離れてしまうことは、特認にとっては大きなデメリットである。示された開校までのスケジュールでは、現在の小6が中3になる頃に建設が始まることになる。特認の児童にとっては、南横山小の友達と一緒に榎尾中に進学、地元中学校に進学、私学に進学の3つの選択肢があるが、その中で小学校を共に過ごした友達と同じ中学校に進学した	○ 40名の場合、その児童生徒数では教育委員会としては少人数とは考えていません。様々な方法が考えられると思いますが、例えば教育委員会で加配教員を1名付けることによる対応等検討していきます。 ○ 国の基準で、支援学級に在籍している子ども達の人数を通常学級の人数に入れることはできません。この辺りも考慮して対応していきます。 ○ 通学バスの利用基準については、自宅から学校までの距離を考慮しながら、検討していきます。 ○ 路線バスを利用した通学については、1年生から9年生までの幅広い学年層が利用することになるため、こうしたことも考慮しながら、利用方法について、保護者の方々等と一緒に考えていきます。 ○ 小中一貫校では、現在横山小、南横山小で行っている特色ある教育活動を最大限発揮できるよう、さらに発展させていきます。そうすることで、榎尾中に進学したい児童を育てていきたいと考えています。
---	---

いと思うのが大きな理由で榎尾中を選択する。保護者にとっては、受験に向けた大切な時期が建設の時期と重複することは、進学先を考えるにあたっての大きなデメリットとなる。榎尾中の教育内容に関しては、南横山小のような特色があるわけでもない中で、特認の児童が榎尾中を選択する動機付けが必要ではないか。こうした点を踏まえて、教育内容を検討し魅力的なものにしていきたい。

【横山校区】

- いじめの問題は小中一貫校になったとしてもあると考えている。滋賀県大津市や横浜市では、いじめ専任の教員を配置し対応している。和泉市でもそうした対応はできないのか。以前の意見交換会でも同様の意見を述べたが、今回の説明の中では一切触れられていなかった。意見が反映されないのであれば、意見を言う者がいなくなる。
- 横山小跡地は避難所としては想定していないとの説明があったが、実態とすれば、独居老人が徒歩で横山小まで避難している。横山小校区の各町の公民館は避難場所として開放しているが、北田中町の公民館の背後の傾斜地は、和泉市で危険傾斜崩壊地域に指定されている。崖が崩壊し公民館が倒壊する恐れがあるため、擁壁の設置を市に依頼したが条例上不可能との回答をもらった。こうした背景もあり、横山小が避難場所となっていることは、存在意義があると考えている。

【要望】

現在の小4の児童たちが榎尾中を選択するように、建設中の配慮についてできるだけ早く、具体的に示していきたい。

- いじめについては、どの学校でも起こり得るものであると認識しています。この認識の下、いじめが存在しないことが大事ではなく、いじめをしっかりと認知し、教員や地域の大人が如何にアンテナを張るかを市として大切にしています。施設一体型小中一貫校となった場合、いじめ防止基本方針を新たに策定し、いじめへの対応を段階別に具体的に示すこととしており、今後準備委員会等の中でその中身について議論していきます。
- 現時点の考え方として、小中一貫校が避難所となることを想定していますが、独居高齢者が避難している状況を踏まえて、今後の検討課題とします。

■アンケート自由記入欄

教育内容について 【横山校区 40代】 ● 特別な授業をしてほしいです。(国や府の決められた内容だけでなく)情報処理、英語などに力を入れてほしいです。 【横山校区 40代】 ● 小中一貫校を作るにあたりせつかくの一貫校ですので、9年間の統一した教育目標をめざして、子どもたちを教育していつて育てていただきたいと思っています。卒業生が次世代に自分の子どもたちにもこの学校に通わせたいと思うような学校、校風、教育を希望しています。保護者や地域の方々から愛される横山の伝統校になっていただきたいです。 【特認】 ● 小中一貫の特色に関して希望するものとしては、出る杭を伸ばし、座学に留まらず小学校時から議論、プレゼンテーション、論文などでアウトプットできる教育、外部講師の積極活用、それらを統括するマネジメント部門の設置など、全国に先駆けた新しく有用な教育が展開されるなら進学させたいし、協力もしたいです。 【特認 40代】 ● 施設一体型となることで南横小の豊かな環境に日々通学できなくなるというのはデメリットです。今後も教育施設としては使用するというのは有りがたいことなのですが、年に数回の利用では意味がありません。より計画的に持続的に、時間をかけて子どもたちの情操教育となれるようにして頂いた方が魅力として打ち出せると考えます。 小中一貫校の意思決定について 【横山校区 40代】 ● 1クラスにおける先生の数を増やすか、「学校	○ 今後、子どもたちに付けたい資質・能力や地域環境などを踏まえ、より良い教育内容を検討していきます。 ○ 施設一体型小中一貫校は、学校と地域が協働して9年間で子ども達を育てていくことができる環境です。その環境を活かし、地域とともにある学校をイメージしています。 ○ 準備委員会を設置し、地域や保護者の声も聞かせていただきながら、新しくなる学校の環境を活かした教育を検討していきます。 ○ 南横山小校区だけでなく槇尾山など横山小校区の自然環境も教育資源となるので、それらを効果的に活用した学習活動は特色ある教育として継承、発展することが考えられます。 ○ 効果的に少人数指導を行うことで子ども達
---	--

サポーター」の導入も検討して欲しいです。できれば20名くらいで1クラスにしないと子供に目が届かないと思います。 【南横山校区 40代】 ● 今の南横の良さ、子供一人ひとりに対してのフォローが小中一貫になってもしっかりできている事を祈る。 【横山校区 40代】 ● 小中一貫校には賛成です。早く作って欲しいと思います。 【横山校区 30代】 ● 様々な人の意見を聞くのも重要であるが、誰のための学校、なんのための学校なのかハッキリとした順位付けが必要。 【横山校区 20代】 ● 制服はどうなるのか。途中で買いかえるようなことはあまりしたくありません。 ● 小1の子供と中3の子供が同じグラウンドで遊んで何も不安なことはないのか。危険性は？ 【横山校区 40代】 ● 私立中学受験を希望する生徒にどう対応するのか。またどう考えているのかを知りたい。 【南横山校区 40代】 ● スクールバスは絶対いります(無料)送迎がいつもできないので。	の学びが充実すると思っています。教科や学習内容に応じて工夫した指導や細やかな見守りに向け研究・検討していきます。 ○ 施設一体型小中一貫校では、小中学校の教員全体で子どもを支援していきます。それぞれの校種の教員が関われる良さを活かしていきます。 ○ より良い教育環境、コミュニティの核となる学校づくりに取り組みます。 ○ 学校は子どもの場所であり、地域コミュニティの中心でもあります。全ての子どもの学びをより充実させ、保障できる教育環境づくりを市として、また地域の方とともに取り組んでいきます。 ○ 制服の導入や具体的な扱いについては、保護者の意見も伺いながら、学校準備委員会で検討することとなります。 ○ 安全な学校生活に向け、グラウンドを使用する時間や場所などのルールづくりを行います。また、それらを子ども達が考えることも学校教育ならではの機会と捉えています。 ○ 中学受験については、他の学校と同様に、何ら制約等ありません。 ○ 新しい学校になることで通学距離が一定の距離以上に延びる場合や安全面に配慮が必要となる児童については、路線バスの活用やスクールバスの導入が必要と考えています。
--	---

【特認】 ● 計画通りに行けば子供が小6時に開校となります。一貫校の中学の様子が分からないまま、私学受験準備をするかしないか今からとても不安なので、南横山小への進学も悩んでしまいます。 【特認 40代】 ● 特認として槇尾中に通わせるかどうか、メリットよりデメリットの方が大きいのでしょうか？ 【横山校区 40代】 ● 制服を決めるときは見たいです。選ぶのに参加したいです。	○ 決定後も開校に向けた取組みの情報発信に努めます。 ○ 施設一体型小中一貫校となるのでメリットも多くなると考えられます。 ○ 南松尾はつが野学園の時には、いくつかの制服モデルを見ていただき、アンケートを取りました。
<u>設置場所、建設中の対応について</u> 【横山校区 30代】 ● 槇尾中学校へ建設する場合、最近建った倉庫も吸収して立地確保すべきではないか。 【横山校区 30代】 ● 建設中は他校への移動も検討する必要があるのでは？ 【特認 40代】 ● 南松尾はつが野学園のように新しい場所での建設を希望します。 <u>建物、通学路等周辺整備について</u> 【横山校区 30代】 ● 現在、外環と横山小の通学路は歩道橋がかかっており、安全を確保されていますが、これを新校のそばにも作るべきではないか。	○ 現時点では想定していませんが、用地の拡充は検討していきます。 ○ 移転先での卒業や、部活動への影響など移転に伴う様々な影響を考えると、一時移転は望ましくないと捉えていますが、建設期間の見通しによっては必要となることも想定しています。 ○ 法的制限や予算、時間、市有地の活用等の観点から総合的に判断した結果、槇尾中学校敷地が妥当と判断しました ○ 通学の安全確保に努めてまいります。

【横山校区 40代】 ● 学校周辺の道路に歩道橋を設置してください。 【横山校区 30代】 ● 新しく設立する学校については児童が快適に過ごせるデザインをお願いします。(奇抜なデザインは不要) 【横山校区 40代】 ● バスの利用可ということで進んでいます、我が家は徒歩地域ですが送迎を考えています。車での送迎を見すえ、駐車場を広くとり、利用しやすいようにしてほしいです。運動会などの行事の時もすごく混むと思うので。 <u>その他</u> 【横山校区 30代】 ● 今回からの参加でしたが1回目来ていないと説明がわかりにくかったです。	○ 通学の安全確保に努めてまいります。 ○ 高い安全性や実用性、居住性などが実現できるよう、専門機関と協議・検討に取り組みます。 ○ 校区の環境や立地、通学面などを勘案した上で、駐車スペースについても検討していきます。 ○ これまでの意見交換会や説明会の内容については、回覧と市のホームページへの掲載を行っておりますが、情報提供が十分でなく申し訳ございません。
--	---